



## 国策の提案

令和6年12月7日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

新しい世界の提案は、自己を世界へ隷属することではなく、真摯な対話と対等な自己において、未来の実現を行うものである。

これらは、共有の理想と利益を提案するものであり、決して自己の利益の追求ではない。

これら新しい合意という現実は未来への新たな協力である。理念の共有は、新しい世界の合意である。

これらは明確に現実に対峙するものであり、決して文弱において現実へ迎合するものではない。

これらは新たな宇宙との関係とともに、世界の合意と未来の実現を提案するものなのである。

世界が無益で可能性のない戦争を求めるとき、冷静な判断を世界へ要求することは必ず正しい選択なのである。

これらは未来の実現を世界へ提案するものである。それが失望と絶望であることは可能である。ただ希望であることも可能なのである。

これが世界の選択であることは必ず正しいのである。それが日の出の国における新しい日の出と未来への提案であることは世界がそれを受け入れることは必ずできるのである。

世界へ選択を強要することは今日の現実においては正しい判断であることは存在するのである。

新しい世界と未来は日の出を求めらるのであり、日本がそれを行うことは可能なのである。

これは現実と理想の葛藤であるため、混乱は否定できない。唯一選択においてこれが存在するのである。